

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	勤労者協議会共催・後援事業	会計	一般会計	事業No.	370	施策順No.	12-008
		事業種別	政策・その他	予算科目	5-1-1-10-1		
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	産業振興支援課		
施策	12 人材育成と企業、人材誘導			事業期間	開始	終了	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	負担金支出先: 飯田市勤労者協議会						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		飯田市勤労者協議会会員数: 人		1660	1660	1560	1560	
	意図	未組織を含む勤労者の地域横断的な組織である飯田市勤労者協議会との共催・後援事業を実施し、勤労者福祉の向上を図る						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	共催・後援事業実施数: 事業	7	6	6	7	7	7	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	地域横断的な勤労者の組織として、勤労者の生活支援・福祉のための事業を幅広く共催又は後援して実施している。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	飯田市勤労者協議会が市と共催で行なう厚生事業や勤労者福祉活動に対して負担金を支出することで、勤労者福祉の充実、向上を図る。 ・厚生事業(JR各駅駐輪場管理、公的施設への雨傘配置、市民菜園事業、生活相談事業、結婚相談、文化レクリエーション事業、市民アンケート等) ・勤労者福祉活動(労金労災利用促進、勤労者生活資金教育資金融資あっせん制度の普及促進等) ・勤労者まつり後援		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 共催事業 勤労者の福祉向上、労働環境整備を目的とした事業の推進。JR駅前駐輪場の維持管理と放置自転車の処理、勤労者生活資金教育資金融資の普及などの事業に継続して取り組んだ。 2 後援事業 (1)勤労者まつりの実施(平成22年11月23日(火)) 勤労者の福利厚生事業として継続実施。 (2)ふれあい広場設置事業【新】 出会いのきっかけづくりを提供。 申込者が審査を経た上で会員登録し、コミュニティサイト「アップル・カップルSNS」を通じて交流。	1 共催事業参加者数 2 (1)勤労者まつり参加者数 (2)申込者数	1,040人 4,830人
	1 共催事業 勤労者の福祉向上、労働環境整備を目的とした事業の推進を図る。JR駅前駐輪場の維持管理と放置自転車の処理、勤労者生活資金教育資金融資の普及などの事業に継続して取り組む。 2 後援事業 (1)勤労者まつりの実施(平成23年11月23日(水)開催予定:勤労者の福利厚生事業として継続実施。 (2)ふれあい広場設置事業 出会いのきっかけづくりを提供。 申込者が審査を経た上で会員登録し、コミュニティサイト「アップル・カップルSNS」を通じて交流。	1 共催事業参加者数 2 (1)勤労者まつり参加者数 (2)申込者数	

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源		5,200	5,199	5,200		
計(A)		5,200	5,199	5,200		
正規職員所要時間			80			
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)			286			
トータルコスト A+B			5,485			

4 事業に対する市民や議会の意見

--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	地域内の従業員、地域内の企業、人材 ①事業活動を改善する ②企業立地、起業・就職できる	施策の成果指標又はムトス指標	①新規就業者数(新卒のみ) ②UIターン者数 飯田下伊那
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	地域横断的な勤労者組織への活動支援により、勤労者の生活支援、勤労者福祉の充実、向上が図られる。地域内の組織、未組織勤労者の連携を図る目的で実施される事業活動は必要である。		
	後期に向けた課題	勤労者の連携、連帯だけでなく、市民、グループ、他団体など多様な主体との連携。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	会員に出会いのきっかけを提供するふれあい広場事業の新設など、要望に沿った事業を実施している。		
	後期に向けた課題	勤労者の連携、連帯だけでなく、市民、グループ、他団体など多様な主体との連携。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	勤労者協議会の事業の効率的な運営による事業費の節約に努めている。		
	後期に向けた課題	勤労者協議会の事業の効率的な運営による事業費の削減。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	市との共催事業、市の後援事業を実施し、市が費用負担している。		
	後期に向けた課題	勤労者協議会が主体となった、事業の効率的な運営。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをされましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	① 地域の勤労者 ② 共催事業、後援事業としてのかかわりと費用負担。		
	後期に向けた課題			
全体を通じて	4年間の振り返り	地域横断的な勤労者組織への活動支援により、勤労者の生活支援、勤労者福祉の充実、向上が図られる。地域内の組織、未組織勤労者の連携を図る目的で実施される事業活動は必要である。		
	後期に向けた課題	勤労者の連携、連帯だけでなく、市民、グループ、他団体など多様な主体との連携。 勤労者協議会会員の高齢化。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------